平成２２年度高知県電源立地地域対策交付金事業の活用について

電源立地地域対策交付金事業とは？

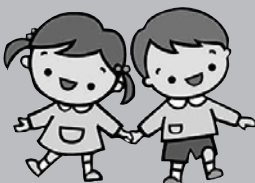
発電用施設のある市町村で実施される公共用施設整備や、住民福祉の向上につながる事業に対して交付金が出されるもので、発電用施設の設置にかかわる地元の理解等を図ることを目的としています。

市内の発電所（すべて水力発電）
①穴内川 ②杉田 ③平山 ④新改 ⑤永瀬 ⑥吉野 ⑦川口 ⑧仙頭 ⑨五王堂

９つの発電所に対し、国からお金をもらっています。

瀧のシブキちゃん
Ⓒやなせたかし

市では、平成２２年度事業として保育園運営の充実を図り、保育士の確保のため交付金を活用しました。

【事業名】 香美市保育所運営事業
【内　容】 市内の保育園に勤務する保育士の人件費
【交付金額】 ３，２５０万円

【問い合わせ先】 政策企画財政課　☎53－3114

生活環境の向上に県公営企業局の交付金が役立てられています
ダム周辺環境整備事業交付金の活用について

市では、高知県公営企業局から交付金を受けてダム周辺環境整備事業を実施しています。

この事業は、３つのダム（永瀬・吉野・杉田）の県営電気事業に対する理解と協力に対して、ダム周辺地域の環境整備の向上に寄与する事業の経費の一部に交付金が助成されるもので、昭和５６年から公園の整備や観光施設整備、道路改良工事などの事業が実施されています。

平成２２年度は、農道舗装工事や農業用水路改修工事、市道排水路改修工事や生活道路の舗装工事など９つの事業を実施し、総額１，７３５万３千円の交付を受けました。

このように、交付金は地域住民が安心・安全に生活できる生活環境の向上に役立てられています。

【問い合わせ先】 政策企画財政課　☎53－3114

情報公開・個人情報保護制度運用状況について

平成２２年４月１日から平成２３年３月３１日までの、情報公開制度の運用状況および個人情報保護制度の運用状況をお知らせします。

【問い合わせ先】 総務課　☎53－3112

個人情報保護制度の運用状況

項目	件数
個人情報業務登録数	443
目的外利用した件数	328
外部への情報提供	428

個人情報の本人からの開示等請求

項目		件数
開示請求		9
内訳	開示	8
	非開示	1
	不服申立	0
訂正請求		0
削除請求		0
中止請求		0
苦情・相談件数		2

情報公開制度の運用状況

公開請求件数	処理状況		左のうち不服申立
235			
（内訳）	公開	206	0
市長部局 206	部分公開	27	0
教育委員会 11	非公開	1	0
選挙管理委員会 7	取り下げ	0	0
水道事業管理者 11	不受理	1	0

・目的外利用
他の課が所有する情報を利用すること。

・外部への提供状況
市役所以外の機関等に個人情報を提供すること。例えば、警察署や税務署等の官公庁や国保連合会等の公法人、金融機関へ口座振替の依頼を出す場合等があります。

香美市文芸 風の流れ

広報委員会

◆一般投稿作品◆

我よりも老人花見にさそわれし　小原　景守
やわらかにそそぐ陽射しに春ぼこり　楮佐古きよ
同窓の最後の集い肌寒し　山﨑　寿美
義援金入れて桜の汽車を待つ　有澤　春江
苦しさに耐えしのびつつ桜咲く　臼井　幸子
けぶる雨ゆらゆられて藤の花　山本　太幸
うす紅を畑一面に仏の座　小原　子川
梵鐘の遠くへとどく春の宵　原　すみれ
代掻田搦へるほどに星映り　山﨑　貴子
里山を黄金にして椎の花　森本　幸美
凍空の夜夜の介護も我が定め　高野　和一
身の丈に合わぬ事増え春惜しむ　岡田美代子
過疎の里流れにまかす花筏　森本　純喜
古木より溢れ枝垂るる桜かな　千頭　野草

◆かがみ野俳句会◆

かって人住みし名残の黄水仙　吉田　芳
野遊びや日の燦燦と土匂ふ　佐藤　幸
認知症自称予備軍四月馬鹿　利根　弘子
袖垣に春告鳥の声頻り　古川　信子
安らぎはこの丘にあり春遊び　小松　愛子
散りてこそ添える恋あり花筏　中澤　美晴
虎杖を噛み脱藩の道超える　森本　倢代
野遊びと言へばうきうき土不踏　山﨑　鈴子
喜寿古稀の立てる頂き木の芽晴れ　佐竹　洋子

◆韮句会◆

菜の花の間母来る暁の夢　公文　春紀
大師堂今日は開きをり花樒　岡本かほる
縁日の道を飾りてしばざくら　高橋　章
境内の宴酣となる残花　篠﨑　亜希
いつまでも続く予震や散る桜　明石ゆきゑ
兎追ひし峡に集へる春祭　北村　幸子
己が影水に映して畦を塗る　西川　常夫
花過ぎの風唸る夜は気の滅入り　甲藤　卓雄
春宵や椿の花の落ちる音　國澤　英
千年の杉を神とし春祭　野﨑　典子
山峡の女子仕切る春祭　北村　里子
草餅に集まる笑顔母の味　小野川順子
語らいの後の桜湯喫茶店　前田　芳子
荒畑となりて久しや野水仙　明石　英子
花冷に一枚羽織り畑手入れ　中内ゆかり
案山子立て村落挙り春祭　竹内　ろ草

◆かほく俳句会◆

清明の土に鉢花下ろしけり　乾　真紀子
梨農家に生まれて梨の花摘めり　久保内鏡子
集落は家族のごとし花に病む　黒岩　幸女
花の客どつとふるさと市に寄る　黒岩千英子
狛犬の口に溜りし花埃　小松　完
春夕焼今宵逢瀬の早仕舞　小松　隆之
遅咲きの一樹花風受け流し　小松　昇
縄跳びの大波小波山笑ふ　杉山　春萌
満開の桜小雨の降るも佳し　野村　里史
微糖缶珈琲春を惜しみけり　前田　欣一
盃に花のひとひら誕生日　前田　秀女
うぐいすの二声落慶法会かな　間﨑　和代
よく動きゐて濁りなき蝌蚪の水　森本　之子

薔薇色を薄めつつ消ゆ春の虹　山﨑かずみ
緋牡丹を我が儘な風揉んでをり　山中　晶子
植うる場所無いと云ふのに買ふ苗木　山中　瑞輝
地震あとの瓦礫の街に春の雪　山中　明石

◆土佐山田町俳句会◆

天近き男池と女池山桜　明石　韮生
元親の「望み櫓」や山桜　大石　邦男
ごっとんと始発列車や別れ霜　前田　小夜
亡夫の故郷桜吹雪の中に佇つ　中沢としみ
広重の女が覗く春の窓　安丸　槙子
霾るや寄り添うように山の墓　森田　菊恵
下り線のプラットホーム春日傘　前田美智子
フーテンの寅さんと見る春朧　橋本　昭和
誰に逢う訳でもなく着る春衣　樫谷　雅道
落花浴び何か急かされいるような　田村　一翠

今月のキラリ

梵鐘の遠くへとどく春の宵

遠くから届く鐘の音には、そこはかとない感傷が漂う。そんな春の夕景を詠んだ句です。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。（ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句（首）以内）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】 香美市広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所不要）
FAX 53・5958